

千葉県議会議員

ふじしろ政夫 と共に県政・市政を変えよう！

発行 ふじしろ政夫

政務調査報告ニュース 2012年10月号

〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50

TEL & FAX 047-445-9144

Eメール masao.fujishiro@zc.wakwak.com

ホームページ <http://e-kamagaya.com/>

福島第一原発事故の責任は？



福島県民は今年3/16に告訴団を結成し、6/11に1324人の告訴人をもって東電の会長・社長等15名と原子力安全委員会、原子力安全保安院、文科省、医師など関係者18名を訴えました。罪状は①業務上過失致死傷害罪②公害犯罪の処罰に関する法律違反③業務上過失激発物破裂罪です。8/1に福島地検は正式に受理しました。今後起訴するか否か検討されます。

活動の中心になっている武藤類子さんからお話を聞きました。

昨年3.11から約一年半福島県内の状況は微妙な場にあるとのこと。余震が続き多くの核燃料がある4号炉を始め今後事故原発が

どうなるかも分らぬ不安の中“原発事故”“放射能”を言いにくい状況になりつつあるとのことです。多くの県民が苦しい生活を強いられています。将来を悲観して自殺へと追いやられてしまう者、職場を家を生活の場を失い途方にくれながら避難生活をする人、国などはスピーディで放射能雲の移動状況を分っていたが、県民は教えられず多量の放射能被曝をしてしまった飯館村などの人々……でもなぜ原発事故に対して誰も責任を問われないのだろうか？

これまで大きな脱線事故が起きた直後には警察の手が鉄道関係者の中に捜査に入るのに…「この責任のなさは何なんだ！」と武藤類子さんは訴えました。

更に、東電への賠償請求をするには、東電が

用意した複雑な書類を作成し東電に判断してもらおう。被害を受けた者が負担を強いられていること。又、除染に巨大なお金が入ってきて今や南相馬市やいわき市では大手ゼネコンの除染ビジネスが…しかもその現場で働いているのが原発事故で職を失った福島県民といった状況が語られました。

「無責任体制のもと住民が一方向的に苦しめられている状況を変えるため」と告訴・告発の第二次訴訟が提起されました（10/15までに1万人を）。ホットスポットの東葛地域からも多くの市民が告訴・告発の声をあげましょう

9月県議会の課題



9/19～10/16の間、32議案と平成23年度決算認定が審議されます。

第一号議案で168億9700万円の一般会計補正を計上。特別養護老人ホーム300床増床に12億円、当初と合わせて800床になります。緊急雇用創出事業として18億5200万円のうち15億4580万円は市町村への補助金です。鎌ヶ谷市は6428万円で食育・文化財管理・安全パトロール等66名の雇用創出を計画。

“中小企業金融円滑化法”の平成25年3月末終了に対応する為、県内金融機関と“中小企業再生ファンド(20億円)”をつくる予定。しかし、どれだけの企業を救済できるのか？どのように支援するのか県の方針が見えません。

また、県の放射能除染作業として7億6700万円が計上されていますが、「健康診断＝低線量内部被曝への対応」は、またまた1円も計上されません。議会の場で議論していきます。

「DV防止・被害者支援基本計画 管理委員会」廃止！

千葉県の男女共同参画施策の後退は、知事選を来年に控え更にひどいものがあります。森田知事は口には出さないが黙って、いわゆる女性センターの縮小、そして今回の「DV防止・被害者支援基本計画管理委員会」の廃止と千葉県がこれまで先進的に取り組んできた施策をバツサバツサと切っています。「お父さんが一番風呂」といった男の権威の復権の『道徳教育』こそが知事のめざす社会なののでしょうか？

県の平成24年度第一回男女共同参画推進懇話会が9/11開かれ、清田弁護士のDVについての話の中で「千葉県では平成13年から全国に先がけてDV対策が取られてきた」ことが語られました。ネットワークづくり、対応マニュアルづくり、サポートセンターでの24時間電話相談等と。そして平成18年DV防止被害者支援第一次基本計画を策定していく中から「管理委員会」が設立され12名の専門家によって計画の進行管理、実施状況の検証・助言・提案がされてきたとのこと。

ところが、これまで被害者の視点に立った現場を知る委員の意見を反映させる場として重要な役割を果たしてきた、先進的な「管理委員会」を第3次計画が策定されたので任期満了…廃止ですとのこと。今後男女共同参画推進懇話会の中で進行管理をしていくとのことですが、9/11の懇話会での委員からは「DVについてお話を聞き少し分った」との弁。本当にやっつけていけるのだろうか？

調査報告 千葉県消防学校を視る

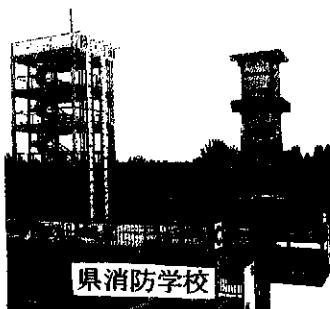
3.11の地震・津波・液状化を総括して千葉県の総合防災拠点が検討されています。千葉市仁戸名町にある県消防学校を視察しました。

昭和46年の建物で、IS値0.34の本館、0.5の寄宿舎、0.53の訓練塔では建て替えは必至。しかし現在の敷地39000㎡では狭いのか、広いのか？今関校長ははっきり答えず「本庁の消防課が考えること」との答えでした。

総合防災拠点として10hだとか、学校だけな

ら6~7h必要だのと“あり方検討会”では議論されていますが、当の校長がそれだけの必要性を主張しないのでは・・・一体議論はどこから出ている事なのか？と思われてしまいました。

200名程の生徒に対して教育をする消防学校



の現在の問題点については①建物の耐震性の不足②全天候型の校庭になっていない③瓦礫処理訓練が出来ない④耐熱耐煙訓練施設がない⑤ヘリポートがない⑥訓練中の騒音

の問題等が指摘されました。

学生の寮室はすべて10名の部屋。プライバシーの点からも時代遅れです。又、今後女性署員の増加への対応が上手く出来ていない寮の造りは問題です。早急に建て替えるべきです。

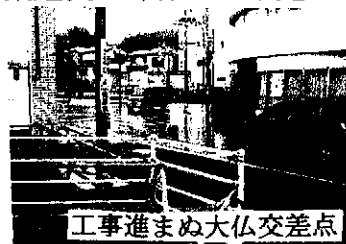
いつになったら完成するの？

——鎌ヶ谷大仏交差点改良事業——



歩道の整備と右折レーンの設置で交通安全を…との事業内容で平成10年から5年計画で始まり、すでに3回も事業延長し平成29年完成予定(現在33%進捗)。

先般東葛土木事務所の方々に早期完成を要望しました。県事務所の方も早く完成したいとのこと。用地買収の面積進捗率は66.04%です。地権者の要望・条件等を丁寧に聞いて1日も早く対応してほしいものです。鎌ヶ谷市は早期完成を要望し、県に協力していくとのこと。



工事進まぬ大仏交差点

お知らせ

★桜井勝延 南相馬市長語る

10月13日(土) 12:30~ 1200円

市川市民会館 大ホール(京成八幡駅5分)

★雨宮処凛&小森陽一 対談

11月3日(土)13:30~ 500円 千葉市民会館

★「景観法をつくらせた市民自治……そして今」

上原公子 元国立市長のお話

11月18日(日) 13:30~ まなびいプラザ

★法律弁護士無料相談 要予約ふじしろ県議迄

10/27(土)・11/24(土) 13:00~



11月25日は、
「女性に対する
暴力撤廃国際日」

